

陳情第 4 5 号		受理年月日	令和 7 年 7 月 2 日
付託委員会		保 健 福 祉 委 員 会	
件 名	年長者や障害者に優しい補聴器無償支給等をお願い する陳情について		
要 旨 耳が聞こえにくい、足が弱った、目が不自由、等々の障害があると、外出したくなくなったり人との接触が少なくなったりする。こういう人たちは、フレイルから寝たきりになったり認知症へ移行したりするのが早くなると言われている。全ての人たちを長期間寝たきりや認知症にさせないで、健康年齢を延ばすための一つとして早めの補聴器無償支給等をお願いしたい。 私は企業在籍中、補聴器を 4 個買い換えた。当時の補聴器は、上手に使ってもおよそ 8 ～ 9 年で使用不可能になり、最も安価なものでも当時 1 個 9 万円くらいだったと思う。電池代も必要である。生活面も勤務中の会話の不通で苦労した。 聞くとところによると、市職員は 1 年に 1 回簡易聴力検査を受けるとのこと。その方法は、耳に何かを当てて可聴周波数が高い音と低い音との 2 種で検査をするらしく、多分個人負担金無しだろうか。その検査結果をどのように取り扱うかは聞いていないが、少なくとも全市職員は簡易聴力検査を受けて難聴者の早期発見を目指しているに違いない。 ところで、一般の会社や零細企業の社員や定年退職者、自営業の方々等々が検査を受けているだろうか。 よって、下記のとおり陳情する。 1. 福岡県後期高齢者医療広域連合から健康診査調査票が届き、1 年に 1 回、500 円で規定内の検査を受けられる。この調査票に聴力検査項目を入れて聴力検査をすれば難聴者の早期発見が見込める。 2. 全ての市民が、年に 1 ～ 2 回の無料の簡易聴力検査を受けられる仕組みがあれば、難聴者の早期発見が見込まれる。 3. 私の経験から言えば耳元で話してもらわないと会話ができなくなるまで聞こえが悪くならないと、身体障害者に認定されなかった。上述			

(続 く)

のとおり企業在籍中に補聴器を4回も買い直さなければならなかった。
大きな負担である。早期の身体障害者認定をお願いしたい。

年を経ると認知度低下が分かる。何事も早期発見、早期対応（早期治療）をモットーにし、難聴者に会話ができなくなる前に補聴器を無償支給していただくことで、健康寿命を延ばしていただきたい。

軽度でも中程度でも難聴者に、早々と補聴器が支給されるよう改善していただくことをお願いする。そして、安全安心の暮らしができる北九州市にさせていただくことを望む。

国家方式では救われない。北九州方式でお願いしたい。